

佐賀大学 令和 6 年度夏休み学童保育 with カッチー教室 開催

実施趣旨

近年、共働き家庭の増加により、就学児童の放課後および長期休みの過ごし方に課題を抱える保護者が増えています。そうした課題解決の一助として、令和元年度より、学内での学童保育を企画・実施しています。学内学童保育の実施によって、本学教職員の子どもたちに安全で安心な居場所を提供でき、保護者である教職員が安心して仕事に取り組むことにつながります。また、保護者が子どもと一緒に出勤・退勤ができるため、非常に利便性が高いと言えます。さらに、子どもが保護者の勤務先を身近に感じる機会にもなります。

佐賀大学ダイバーシティ推進室は、教職員のワークライフバランスの充実と大学の資源を活かした『学童保育』として、「夏休み学童保育 with カッチー教室」を小学生の夏休み期間中である 7 月 24 日（水）～26 日（金）の 3 日間、実施しました。

参加児童総数は、40 名でした。学年は、1 年生 3 名、2 年生 7 名、3 年生 14 名、4 年生 7 名、5 年生 5 名、6 年生 4 名でした（女児 22 名、男児 18 名）。申込者（保護者である佐賀大学教職員）は、32 名でした（教員 10 名、職員 22 名）。

7 月 24 日(水)

【朝の会】 ダイバーシティ推進室副室長荒木より、佐賀大学についての紹介があり、学童保育中のスケジュールやルールをみんなで確認しました。



【カッチー教室①】 木工芸を体験しよう

芸術地域デザイン学部 井川 健 先生

芸術地域デザイン学部の漆・木工教室にて、井川先生のご指導の下、木工芸を体験しました。初めに井川先生から、木についてのお話があり、針葉樹や広葉樹の違い、堅さや重さの違い、木目の違い（板目と柾目）などについて学びました。続いて、豆皿の制作です。井川先生が準備してくれたお手製の彫り台に豆皿の基となる木片をセットし、丸彫り用の彫刻刀を用いて制作をスタートしました。順調に彫り進める子もいれば、とても堅い木にあたってなかなか彫れなくて苦勞する子もいました。木屑にまみれながら、集中して彫り進めた1時間、お皿の形になってきました！終わりに、ペーパーで磨き、オイルで艶出しを行いました。井川先生のお手本のすてきな豆皿には及びませんでしたが、参加児童それぞれのオリジナルの豆皿が完成し、とても満足そうでした。彫刻刀を使用するので、ケガの心配がありましたが、軍手の着用や大学生・大学院生のサポート、各自が初めの注意を守ること、大きなケガもなく終了することができました。



【カッチー教室②】 <特別企画>佐賀大学長にインタビューをしよう

兒玉 浩明 佐賀大学長

今年のカッチー教室の特別企画として、学長室を訪問し、佐賀大学長にインタビューを行いました。参加児童が学年ごとに3グループに分かれ、グループごとに学長室を訪問し、インタビューを行いました。

ふかふかの絨毯敷で重厚で趣のある学長室に到着すると、普段、会議などで使用される大きな円卓にみんなで座りました。兒玉学長から、自己紹介と1日のスケジュール紹介があり、大学の学長がどんなお仕事をしているのかを知る機会になりました。続いて、インタビュータイムです。参加児童それぞれがこの日のために質問を準備しました。緊張して話せないかな？という心配をよそに、「好きな偉人は誰ですか？」「小学校と大学の違いは何ですか？」等々、小さなインタビュアーの挙手が続きました。和やかな雰囲気の中で、兒玉学長にはどの質問にも丁寧に回答していただき、参加児童たちは一生懸命に聞き、メモを取っていました。

最後に学長とカッチーくんとも写真を撮り、良い記念になりました。



【カッチー教室③】 物語を作ってみよう

学校教育学研究科 竜田 徹 先生

竜田先生の絵本（スイミー）の紹介を皮切りに、児童達も自分が持ってきた絵本の内容や魅力を周りの児童に伝えあい、共有しました。40 名が持参した絵本の中に、ベストセラーや定番の絵本がもちろんありましたが、不思議と同じ本はほとんどありませんでした。また、絵本それ自体の力なのか、自然と会話が始まり、絵本交換が始まる様子も見られました。

続いて、物語創作についての講義があり、既存の概念に縛られない物語作りの技法について学びました。テクニックの詳細はここでは省きますが、作者である子どもたちも当初想像していなかった奇想天外で不思議なお話や斜め上行くお話が完成する様子は、とても面白かったです。出来上がったお話をみんなと読み合ったり、とびきりのリアクションをもらったり楽しい時間となりました。

完成したお話（用紙）はいったん回収して、竜田先生をはじめサポートする大学院生から、お話ひとつひとつに丁寧なコメントいただきました。



【カッチー教室④】 大学生と遊ぶ夏休み

学生サークル TSUDOIBA

学生サークル「TSUDOIBA」のみなさんが、小学生が楽しく遊べる企画を提供してくれました。

ひとひねりある自己紹介、自作カルタ作り、ペットボトルモルック、9マス鬼ごっこを行いました。9マス鬼ごっこは、9つのマスの中を順番に移動していく、1対1での鬼ごっこです。せーの！の掛け声で、鬼と一緒にのタイミングで移動し、鬼と同じマスに移動したらアウトです。相手の動きを推測しながら（相手の動きに翻弄されながら？）の鬼ごっこは、初めて体験する子が多く、スリリングでとても盛りあがりました。



【特別企画】 ウォーターサバイバルゲーム

学生サークル TSUDOIBA

前の時間に引き続き、TSUDOIBA のみなさんに実施してもらったウォーターサバイバルゲーム。夕方からの自由参加企画にも関わらず、ほぼ全員が参加しました。暑さや夕立の心配がありましたが、ちょうどよい曇りの中、安全に楽しく実施することが出来ました。

水鉄砲を片手に、頭につけた的を狙って、複数の対戦者と戦います。自分の的の穴が空けられたら、そのタイミングでゲームオーバーです。水鉄砲の性能にもよるのか、なかなか的に命中せず、相手からすぐに穴を空けられて悔しがる子も。相手の攻撃をうまくかわして、最後まで残った時はとてもうれしそうでした。熱中するあまり、的だけでなく、洋服がずぶ濡れになる子もいました（帰宅時にしっかり着替えました）。

10 名による戦いを 3 回ほど繰り返して、力を出し切って楽しみました。



7月26日(金)

【カッチー教室⑤】 心臓のお医者さんになってみよう！

医学部卒後臨床研修センター 吉田 和代 先生

みんなでバスに乗って、鍋島キャンパスにある医学部卒後臨床研修センターを訪問しました。循環器内科医師である吉田先生に、心臓のしくみと心臓マッサージ（胸骨圧迫）について教えてもらいました。

心臓マッサージキットを用いて、タイミングやリズムなどについて学びました。上級生と下級生でペアになり、助け合いながら取り組みました。こどもたちが、一斉に心臓マッサージに真剣に取り組む様子は圧巻でした。「人が倒れていたら 119 番と AED！」を合言葉に、心臓マッサージをしっかりと覚えて帰りました。子どもであっても、心臓マッサージが実践できれば、突然倒れてしまった人に対して、脳へのダメージを少しでも軽減させ、人命救助の確率が上がります。いつか役立つ時がくるといいですね。



【カッチー教室⑥】 空気ウキウキ実験教室

農学部 辻田 忠志 先生

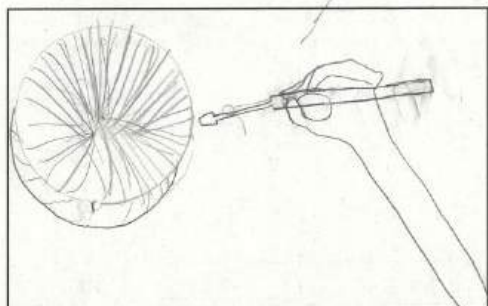
農学部実験室にて、辻田先生のご指導の下、身近にある空気を構成する O_2 、 CO_2 、 N_2 について、様々な遊びを通して学びました。

軍手の上に青の手袋をつけてスタンバイする参加児童たち。実験で扱う素材には危険なものもあるため、絶対に素手や軍手だけで触らないことを約束して、実験室の4か所に配置された体験ブースを次々に回って行きました。「凍ったバナナで釘を打つ」体験ブースでは、液体窒素で凍らせたバナナで、釘打ちに夢中になる子が続出でした。バナナの状態によっては、釘を打つとすぐにバラバラと壊れてしまうものもありましたが、それでも普段できない体験でとてもおもしろかったようです。「ドライアイスの卓上ホッケー」体験ブースは、氷とはまた一味違ったドライアイスの特性が活かされています。ドライアイスは気化するため机が濡れないのと、二酸化炭素ガスによって浮いているためつるつるの机上だとよく滑るのです。遊びを通して、空気について学んだ、とても楽しい時間でした。



学童保育終了後、子どもたちには日記を書いてもらい、ご協力いただいた先生方にお渡ししました。

木工芸を体験しよう



名前()

7月24日

さーいしよは、あまりぞき
てなかつたけど、どんどん上手に
なってきたのでうれしかったです。
家でも道具を買ってやってみたいです。
とても楽しかったです。



佐賀大学長にインタビューをしよう!



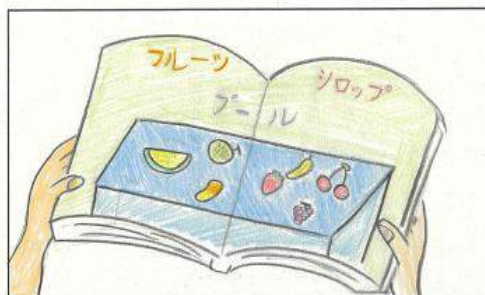
名前()

7月24日

あたしは、佐賀大学長
にインタビューをしようとして、
学長さんにたくさんイ
ンタビューしました。そ
も、やさしくて、おもしろ
いことを教えてください。
チークにも、あえてうれし
かったです。



物語を作ってみよう



名前()

7月24日

私は、物語を作
り、フルーツのシロップ
プールの物語を書きました。
先生が教えてくれた方法
で作ると、簡単にスムーズに
考えることができました。いろいろな
設定の物語が聞けて楽しかったです。



大学生と遊ぶ夏休み

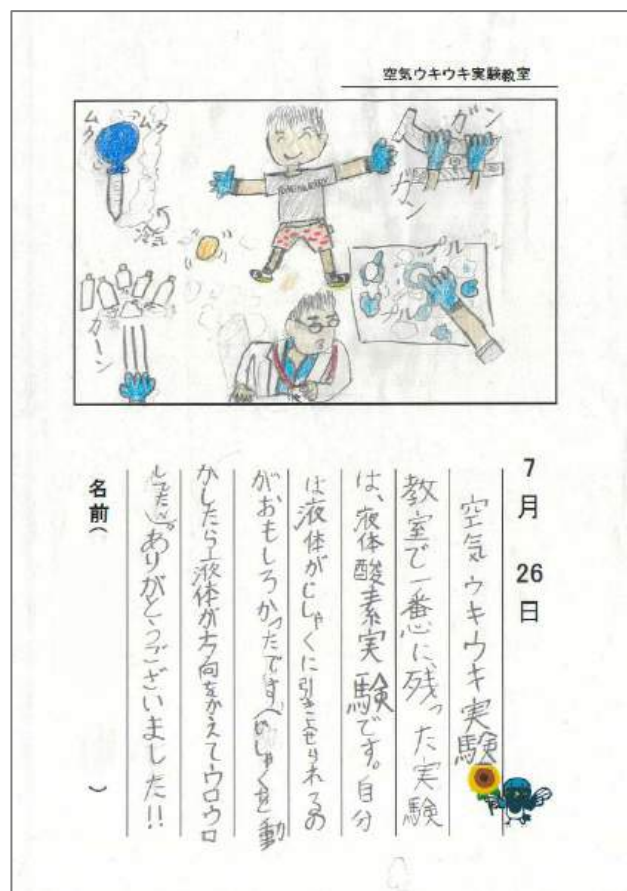


名前()

7月25日

わたしがたのしかったとは、
かるたづくりです。
なせかとゆうと、
いろいろなお道具もでたし
みんなそれぞれがいの
かるたをとってたから
たのしかったです。またい
きたいです。





おまけ
学長室に遊びに来てくれたカッチー君。
いつでも子ども達に大人気！



佐賀大学ダイバーシティ推進室では引き続き、教職員のワークライフバランスの充実に
向け様々な活動に取り組んでいきます